



平成 28 年 10 月 7 日

各 位

会 社 名 アル テ ッ ク 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 張 能 徳 博
(コード番号 9972 東証第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 (経 理 部 長) 池 谷 壽 繁
(TEL : 03 - 5542 - 6762)

**営業外費用（為替差損）、特別利益（固定資産売却益）の計上
および業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、平成 28 年 11 月期第 3 四半期連結累計期間(平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)において、営業外費用（為替差損）、特別利益（固定資産売却益）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当該営業外費用の発生および最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 1 月 14 日付「平成 27 年 11 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました平成 28 年 11 月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の内容

当社は、平成 28 年 11 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日)において為替差損 78 百万円を計上しておりましたが、その後の為替相場の変動により、平成 28 年 11 月期第 3 四半期連結会計期間(平成 28 年 6 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)において新たに為替差損 98 百万円が発生したため、平成 28 年 11 月期第 3 四半期連結累計期間(平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)においては、177 百万円の為替差損を営業外費用として計上いたしました。

これは主として当社グループが保有する外貨建債権債務を平成 28 年 11 月期第 3 四半期末時点の為替相場で評価替えしたことにより発生したものであり、今後の為替相場の状況により変動いたします。

2. 特別利益（固定資産売却益）の内容

当社は、平成 28 年 11 月期第 3 四半期会計期間において、固定資産売却益 65 百万円を特別利益として計上いたしました。

これは主として、平成 28 年 3 月 31 日付にて公表いたしました連結子会社の解散および清算に伴い生産設備等を売却したことにより発生したものであります。

3. 業績予想の修正

平成 28 年 11 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想 (A)	18,000	250	150	70	4.08
今回修正予想 (B)	14,500	200	未定	未定	未定
増減額 (B)-(A)	3,500	50	-	-	
増減率 (%)	19.4	20.0	-	-	
(ご参考) 前期実績					
平成 27 年 11 月期通期	15,810	168	104	998	58.23

4. 業績予想の修正の理由

(1) 売上高および営業利益について

売上高および営業利益については、商社事業において大型機械案件の受注減少に加え検収時期に遅れが生じること、プリフォーム事業において中国経済の減速の影響を受けて販売数量が減少することから、前回業績予想を下回る見込みであります。

(2) 経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について

経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については、為替相場の動向が極めて不透明であり、現時点においては適正かつ合理的な算出が困難であることから未定としております。なお、今後、見通しが判明次第すみやかに開示させていただきます。

(注) 上記記載の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上